



デフアスリートを ささえる

競技別手話言語通訳ガイド

[テニス 編]

Tennis



目次

P.1	目次
P.2	ごあいさつ
P.3	デフリンピックが日本で開催
P.4	スポーツ分野で通訳するための準備
P.5～6	ろう者とテニス
P.7	主な大会
P.8～10	デフテニスにおける手話言語通訳者の役割
P.11	テニスの基本知識
P.12～13	テニスの競技エリア(プレイエリア)
P.14	テニスウェアの規定、ロゴについて
P.15	テニスの用具
P.16～22	テニス用語の手話表現

ごあいさつ



全日本ろうあ連盟
スポーツ委員会 委員長
太田 陽介

スポーツ庁は「する・みる・ささえる」といった多様なスポーツライフを通じて、スポーツ参画人口の拡大を目指しています。アスリートのプレーを「みる」、ボランティアの「ささえる」活動を通して、「する」スポーツへの興味が喚起され行動へとつながることが期待されており、きこえない、きこえにくい人のスポーツ活動を通じた社会参加と共生社会の実現にも通じる取組になります。

2025年に東京・福島・静岡で開催されるデフリンピック（主催 / 国際ろう者スポーツ委員会 (ICSD)）は、日本では初めての開催であり、また1924年にパリで最初のデフリンピックが開催されてから100周年の節目となる大会になります。

この大会の開催を契機に、手話言語の理解・普及・拡大など従来からの情報保障の推進・強化に加え、スポーツ施設や競技大会において、デジタル技術を活用した、新しいコミュニケーションツール等の開発が進んできています。一方で、きこえないアスリート（デフアスリート）がスポーツをするにあたっては、スポーツ関係者によるきこえないことや手話言語への理解促進とともに、デフアスリートのスポーツ活動をささえる手話言語通訳者の育成が重要になっています。

そこで、本委員会では令和2年度より、スポーツに精通した手話言語通訳者の育成を目的として、スポーツ庁の「障害者スポーツ推進プロジェクト」を受託しており、令和6年度は、専門種目としてテニス競技、柔道競技、バドミントン競技、ボウリング競技、ゴルフ競技、ライフル射撃競技を解説するパンフレットを作成しました。

スポーツ活動の現場で通訳を行う方々の知識と技術の向上にこれらの手引きが役立つことを願っています。

デフリンピックが日本で開催

2025年に東京でデフリンピックが開催

2025年11月15日～26日に東京・福島・静岡でデフリンピックが開催されます。

デフリンピックとは？

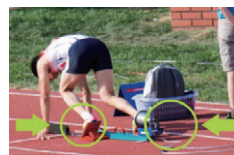
きこえない選手の国際的なスポーツ大会です。
デフ (Deaf) とは、英語で「きこえない」という意味です。

オリンピックと同じように4年に1度、夏季大会と冬季大会が2年ごとに交互に開催されます。競技ルールはオリンピックと同じですが、きこえない選手のための視覚的保障がなされた競技環境があることがデフリンピックの特徴です。

視覚的保障とは？

音や審判の合図がきこえないという、選手にとって不利な状況を視覚的に補うことです。

デフリンピックでは、陸上競技や水泳競技のスターターの音はフラッシュランプを使って選手にスタートを知らせています。サッカーやラグビーでは審判が笛を吹くとともに、旗または片手をあげることで反則などが起きたことを選手に知らせます。



国際的なデフスポーツ大会について

きこえない選手の国際的なスポーツ大会には、デフリンピックの他に、国際ろう者スポーツ委員会 (ICSD) 公認の世界ろう者選手権大会やアジア太平洋ろう者スポーツ連合 (APDSC) 主催のアジア太平洋ろう者競技大会等があります。

URL : ICSD 公式ホームページ <http://www.ciss.org>

デフスポーツに関する情報

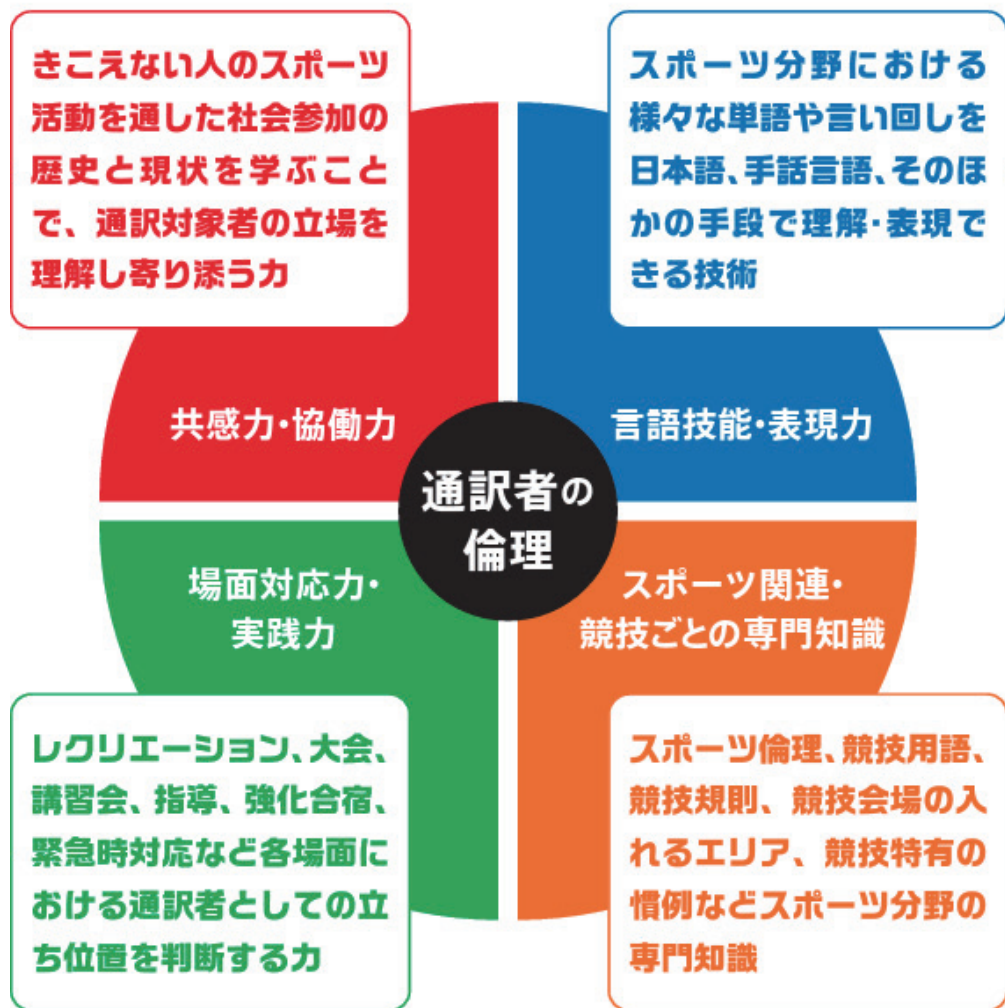
一般財団法人全日本ろうあ連盟スポーツ委員会では、デフスポーツに関する情報発信を行っています。

URL : <https://www.jfd.or.jp/sc/>



スポーツ分野で通訳するための準備

きこえない人のスポーツ活動を通じた社会参加を支える手話言語通訳者が、通訳者としての倫理観を備えた上で準備しておくべき知識と技術を、「共感力・協働力」「言語技能・表現力」「場面对応力、実践力」「スポーツ関連・競技ごとの専門知識」の4テーマに整理しました。



このガイドブックでは特にテニス競技に必要な知識を紹介します。

ろう者とテニス

デフテニスとは？

デフテニスとは、きこえない・きこえにくい人によるテニスのことです。

基本的なルールは一般のテニスと同じですが、打球音や他の音がきこえない中でプレーしています。

審判や観客の声もきこえないため、スコアのカウントは手を使って数字を表現します。特に難しい点は、サーブ時にボールがネットにかすった時の判断です。

かすった音がきこえないため、そのままプレーを続行してしまう場面が多くみられます。

また、ラケットのガット(ストリング)が切れたことに気づかないこともあります。



一般のテニスとのプレースタイルやルールの違い

ダブルスの試合では、きこえる人たちが試合中に声を出してコミュニケーションを取り、指示を出すことができます。

しかし、デフ選手たちは試合中に声を出してもペアがお互いの声を聞き取ることができないため、声によるコミュニケーションが難しいのです。

デフ選手たちはジェスチャーをあらかじめ決めておき、ポイントの間に時間を使って、どのようにプレーをしていくか、作戦を練ります。

これにより、試合中でもスムーズにチームワークを実現しています。



デフテニスは、通常のテニスとほぼ同じルールでプレーされますが、音に関する要素が排除されています。

そのため、デフテニス選手は手を使ったジェスチャーを通じてゲームを進行します。



通常の試合での問題点

- ・ 試合開始のアナウンスが聞こえないため、オーダーオブプレイ（試合の順番や開始時間が記載されているスケジュール一覧）を確認しに直接行くことが多い。
- ・ 練習と試合では、指導者の声や声援が聞こえない。マスクを付けてる状態、また口の動きが小さい場合は読み取りにくい。
- ・ サーブのレット時に、ネット揺れは確認出来るが、わずかな音がきこえないまま、プレーを続けてしまう。
- ・ 審判と相手プレイヤーによるコールが聞こえない。
（コールとは、審判や線審が宣言する判定や指示のこと。例えば、アウト/イン/レット、ゲームカウント、サーブの順番などがある。）
- ・ 急なコート番号の変更や、スケジュール変更の情報を得ることが難しい。



主な大会

国内大会

- ・全国ろうあ者体育大会 テニス競技
- ・JDAT選手権（ユース選手権も含めて行っています）

第8回 JDТА大会
2024年7月 有明テニスの森公園



第1回ユース選手トライアル
2024年11月 愛知県



国際大会

Deaf Tennis 2024 Global Challenge
2024年11/2～11/5 有明テニスの森公園



第3回世界デフテニス選手権大会 2023年
9/23～9/29 ギリシャ・クレタ島ヘルソニス



第2回世界デフチーム選手権 2023年
9/23～9/29 ギリシャ・クレタ島ヘルソニス



全豪オープン 2025年
1/23～1/26 オーストラリア・メルボルン、ギリシャ



デフテニスにおける手話言語通訳者の役割

テニス競技の手話言語通訳として気をつけること

一般的な通訳との違いは拘束時間が長いことです。

競技の通訳を行うにあたっては、「選手と一緒にその競技を楽しむこと」「その競技が好きであること」が一番大切です。

1. テニスの通訳は、外のテニスコートで1日中の通訳となります。
動きやすい運動靴や服装で行い、また時期に合わせて暑さ寒さ対策が必要です。
2. テニス選手は難聴者もあり、補聴器をつければ手話なしでも会話できる選手もいます。
しかし、デフテニスでは練習試合や試合においては、全員補聴器を外すルールがあるので、選手がその場でのコーチや審判とのコミュニケーションができていないかどうかの様子を見ながらの通訳が必要となります。
3. 合宿の時は、手話を使わずに話すコーチの指導の時とトレーナーとのコミュニケーションの時に通訳を行います。
ただ、選手が理解できているような時はあえて通訳に入りません。
4. 一般的な手話通訳現場と違い、時間で交代、立ち位置を決めるのは難しいです。
現場での通訳担当者と相談しながら、交代時間と立ち位置を決定します。
試合の時は、受付での審判とのやり取りの通訳等があります。
5. 試合中、ボールが動いている時にコートの後ろを通ってはいけません。
6. コートの中でトラブルがあっても、呼ばれない限りはコート内に入りません。
7. 事前にテニス用語の手話表現を確認しておきましょう。



合宿中の通訳

手話を使わずに話をするコーチ、トレーナーとの通訳となります。選手の中には、難聴者もあり、手話言語を使えない選手もいます。ただ、出来るだけ選手自身が自分でコミュニケーションを取ることが大切であると考えています。

そのため、1対1の場合、様子を見て通じないようなときに通訳を行っています。練習中は、コーチから選手へのアドバイス通訳がすぐにできるように、できるだけコーチの近くにいることが大切です。

合宿のスケジュールは、午前練習、昼休憩、午後練習という流れが多いです。屋外での通訳となるため、水分補給と暑さ対策・寒さ対策をすることが大切です。テニスコート内ではコーチの近くでコーチとともに動き回りますが、試合中、ボールが動いているとき、選手以外の人たちは動いてはいけないというルールがあります。

大会中の通訳

合宿中と同じく屋外での通訳なので、水分補給と暑さ対策・寒さ対策は大切です。

合宿と違い、審判と選手との間の通訳がメインとなります。

テニスは個人戦であり、一つの試合が終わると審判がいる本部受付に報告し、次の試合のコートの指示を審判から受けます。

そのため、本部受付での通訳、また試合中のトラブル、ケガをした時などの通訳を行います。

ただし、試合中は勝手にコートに入ることはできません。

コート内でトラブル、ケガ、体調が悪くなった等の場合であっても、審判の指示がない限り、手話言語通訳者は、コートに入ることはできません。



手話言語通訳者の服装について

1. 青などの落ち着いた色や柄が少ないもの

分かりやすく、相手にも集中して手話言語を伝えやすくなります。

2. ロングヘアの場合は肩より後ろに流す

視界を遮ったり、動作が見えにくくなるのを防ぐため、まとめるか適切な位置に流すのが良いでしょう。

3. イヤリングやネックレスなどのアクセサリーは着用しない

アクセサリーが手の動きにかかって見えにくくなるリスクを避けるため、外す方が通訳には適しています。

4. 日差しが強い場合は帽子・サングラス着用はOK

5. 寒い場合の防寒具について

コートやジャケットは着用しても構いませんが、通訳中は手の動きや表情をしっかりと見せるために、防寒インナーの活用がおすすめです。

重ね着の場合は、通訳の際に着脱がしやすいものを選ぶとよいでしょう。



帽子着用の例



防寒具着用の例

テニスの基本知識

テニスの基本ルール

基本ルールは通常のテニスに則りますが、サーブの際には音がきこえないため、選手間で視覚的にサインを交わすことが求められます。

テニスとは、ネットを挟んで2人がボールを打ち合うスポーツです。自分の打ったボールがネットを超えて相手のコート内に落ちれば、ポイントが続行されます。

相手からのボールが地面に2回着くまでに打ち返さなければなりません。つまり、ボールが地面に1回も落ちない（ノーバウンド）か、1回だけ落ちる（ワンバウンド）うちに打ち返す必要があります。

どちらかがミスをすることで、相手に「ポイント」が入ります。ポイントを集めることで「ゲーム」を取り、ゲームを集めることで「セット」を取り、最終的に「マッチ」を勝ち取ります。（これらの詳細については後で説明します）サーブから始めて、1ゲームが終わるまで同じプレイヤーがサーブを続けます。審判がいない場合、サーブを打つ人（サーバー）がスコアをコールまたは手でサインする役割を担います。

1対1で行うシングルスと2対2で行うダブルスがあります。シングルスの場合、コートの横幅が狭く、サイドライン（コートの横のライン）が内側に設定されます。ダブルスの場合、コートの横幅が広くなり、サイドラインが外側に設定されます。

テニスの得点のルール

- ・ 1ポイントごとに15、30、40と数える。
- ・ 4ポイント取ると1ゲームを獲得する。
- ・ 3ポイントで並んだ場合は「デュース」となり、先に2ポイント連取した方が勝利。
- ・ 6ゲームずつで並んだ場合は「タイブレーク」と呼ばれ延長戦を行い、先に2ポイント差をつけて7ポイント獲得した方が勝利。
- ・ 3セットマッチの試合であれば2セット獲得すれば勝利。
- ・ 5セットマッチの試合であれば3セット獲得すれば勝利。

テニスの競技エリア（プレイエリア）

1. ベースライン

基本となるラインが、コート奥の後ろにあって横向きに引かれたベースラインです。シングルスもダブルスも同じです。

このベースラインの外にバウンドしたボールはアウトになるので、これよりも内側に入れる必要があります。

また、サーブを打つときはベースラインを踏んだりまたいだりしてはいけません。

2. サービスライン

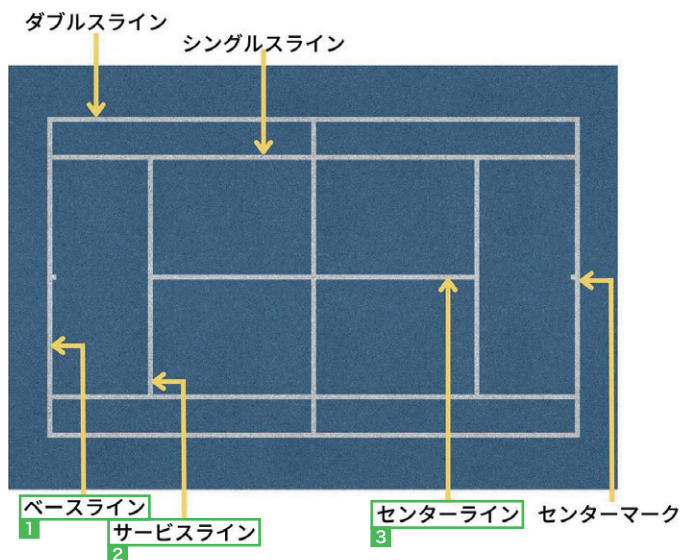
コート半面分の真ん中より少し後ろ、ベースラインと平行に引かれているのがサービスラインです。こちらでもシングルス、ダブルス両方で使います。

このサービスラインと後述するセンターライン、シングルのサイドラインで囲まれた範囲をサービスボックスと呼び、サーブはこの範囲に入れる必要があります。

3. センターライン

ネットをまたぐように縦に引かれている真ん中のラインがセンターラインです。

センターラインはサーブのイン/アウトの判断に使われます。



4. センターマーク

センターラインの延長線上、ベースラインの真ん中にある短いラインをセンターマークと言います。

このラインはベースラインに直角に引かれており、サーブは基本的にコートを縦に半分に割った一方から打ちます。

このセンターマークによって、アドバンテージサイド(ネットに向かって左側のエリア)とデュースサイド(ネットに向かって右側のエリア)に分けられます。

5. シングルスライン

コートを縦に見た時に、サービスラインと平行に左右外側に引かれているラインが2本あります。そのうちの内側のラインがシングルスラインです。

その名の通り、シングルス試合で使用されます。シングルス試合では、このシングルスラインの外側に落ちたボールはアウトになります。

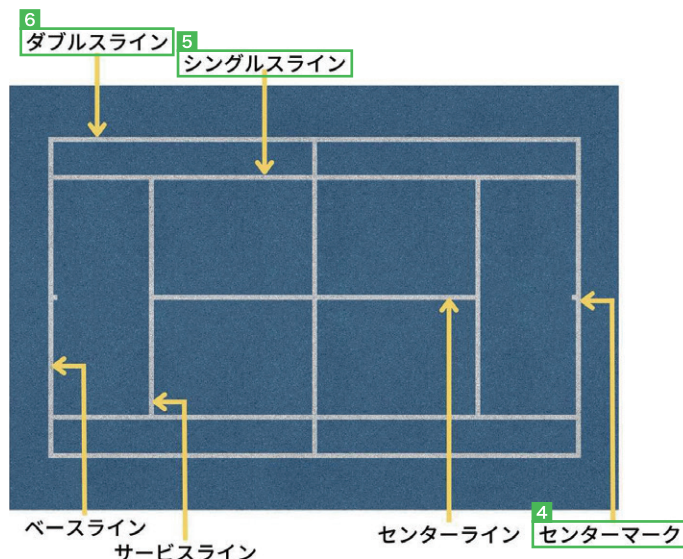
6. ダブルスライン

シングルスラインと平行に、外側に引かれているラインがダブルスラインです。

ダブルス試合に使用されます。ダブルスでは、シングルスラインの外側のエリア(アレーコートと呼びます)もプレイエリアに含まれます。

このため、シングルス試合よりもコートの横幅が広がります。

ダブルス試合では、このダブルスラインの外側に落ちたボールはアウトになります。



テニスウェアの規定、ロゴについて

シャツ、セーター、上着

両袖それぞれに、19.4平方cm以下のコマーシャルロゴ1つ、13平方cm以下の製造業者ロゴ1つ。

女性用袖なしシャツの前身ごろには19.4平方cm以下のコマーシャルロゴを2つ。前身ごろ、後身ごろ、襟には13平方cm以下の製造業者ロゴ2つ、または19.4平方cm以下の製造業者ロゴ1つ。

ショーツ、スカート、パンツ

13平方cm以下の製造業者ロゴ2つ、または19.4平方cm以下の製造業者ロゴ1つ。コマーシャルロゴは付けられない。

上記に加えてスパッツには13平方cm以下の製造業者ロゴ1つ。

ワンピース

- ・ウエストより上：シャツとみなす。
- ・ウエストより下：スカートとみなす。

ソックス、シューズ

- ・製造業者ロゴの数に制限なし。
- ・ソックスの製造業者ロゴの大きさは13平方cm以下。

ラケット

- ・フレーム：製造業者ロゴの大きさ、数に制限なし。
- ・ストリング：フレーム製造業者ロゴ1つ、ストリング製造業者ロゴ1つ。

帽子、ヘッドバンド、リストバンド

- ・13平方cm以下の製造業者ロゴ1つ。

バッグ、タオル、その他

- ・製造業者ロゴの大きさと数に制限なし。

テニスの用具

ラケット

テニスをプレーするための必須アイテムです。フレームとストリングで構成されています。

フレーム
ストリング



テニスボール

通常、フェルトで覆われたゴム製のボールを使用します。



シューズ

テニス用のシューズは、動きやすさと耐久性を考慮して設計されています。



ウェア

シャツ、ショートパンツ（またはスカート）、ソックスなどの衣服。快適で動きやすいものが一般的です。



グリップテープ

ラケットのグリップ部分に巻くテープ。握りやすさを向上させ、汗を吸収します。



サンバイザー、帽子

日差しを遮るために使用します。



リストバンド

汗を拭うために使用します。



ボールバッグ、ラケットバッグ

用具を持ち運ぶためのバッグ。



テニス用語の手話表現

テニス用語の解説と手話表現

「サーブ」や「ネット」など、基本的なテニス用語の手話表現を学ぶことで、選手同士のコミュニケーションがスムーズになります。

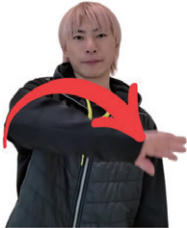
テニス用語の
手話表現の動画
まとめはこちら➡

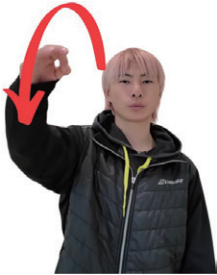


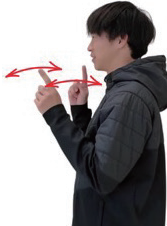
手話言語通訳者の
動きも含めて、合宿
の様子などをアップ
する予定です➡

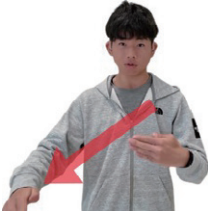


テニス用語と解説	写真	動画
サーブ		
ファーストサーブ 1回目に打つサーブ		
セカンドサーブ 1回目にサーブに失敗した 後に打つ2回目のサーブ		
ショット		
フォアバンド 利き腕側でボールを打つ ショット		

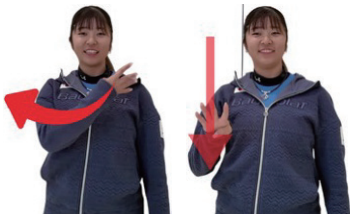
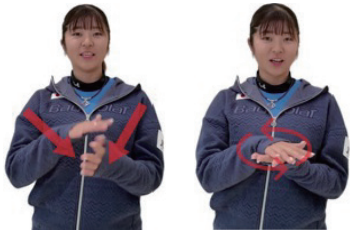
テニス用語と解説	写真	動画
バックハンド 利き腕とは反対側で ボールを打つショット		
ボレー 相手の打ったボールを ノーバウンドで打ち返す ショット		
スマッシュ 自分の頭上で打てる ボールを相手のコートに 力強く打ち下ろすショット		
スピン ボールに回転をかける ショット		
スライス ボールに横回転を加えた ショット		

テニス用語と解説	写真	動画
ロブ 相手コートの後方へ落ちるように高く緩いボールを返す		
サービスライン コート半面分の真ん中より少し後ろ、ベースラインと平行に引かれている		
試合関連		
イン 打ったボールがベースラインより内側に入った状態を指す		
アウト ボールがコートが一番後ろにあるベースラインの外側に出た状態を指す		

テニス用語と解説	写真	動画
チェンジ コートのサイドやエンドを 交代すること		
セット ゲームのまとまりで、 先に一定のゲーム数を取った方が獲得		
ゲーム 4ポイント取ると 1ゲーム獲得		
ポイント 1ゲームに4ポイント取る		
先取 ゲームやセットを先に 獲得すること		

テニス用語と解説	写真	動画
ブレイク サーブ権のある相手側のゲームを奪うこと		
デュース ゲームやセットに勝つために必要な得点より1ポイント少なくて双方が同点の状態		
タイブレーク テニスでゲームカウントが6-6になった場合に行われる延長戦		
アドバンテージ デュースになったゲームで先にポイントを取ったプレイヤー (2種類：相手・自分)		
レット プレーのやり直しを意味		

テニス用語と解説	写真	動画
ラブ ポイントの「0」		
フィフティーン ポイントの「15」		
サーティ ポイントの「30」		
フォーティ ポイントの「40」		

テニス用語と解説	写真	動画
その他		
ラケット テニスでボールを打つために使用する楕円形のラケット		
グリップテープ テニスラケットの持ち手に巻くテープ		
ガット (ストリング) ラケットに張られる糸		
ハイブリット 縦糸 (メインストリング) と横糸 (クロスストリング) に異なる種類のガットを張ること		

[組織]



競技団体

公益財団法人日本テニス協会 <https://www.jta-tennis.or.jp/>

一般社団法人日本ろう者テニス協会

一般社団法人日本ろう者テニス協会は、2002年に任意団体として設立され、2017年6月14日に法人格を取得しました。日本ろう者テニス協会は、聴覚障害者への理解を深めることを目的としており、デフテニスの実態を発信することで健聴者との共存社会の実現を目指しています。

[編集協力]

一般社団法人日本ろう者テニス協会
<http://deafjapan-tennis.com/>



デフアスリートをささえる

競技別手話言語通訳ガイド【テニス編】

発行日 2025年3月1日
発行 一般財団法人全日本ろうあ連盟 スポーツ委員会
TEL : 03-6302-1430
FAX : 03-6302-1449
メール : jfd-sc@jfd.or.jp
URL : <https://www.jfd.or.jp/sc/>



このガイドブックは、令和6年度「障害者スポーツ推進プロジェクト（障害者スポーツの指導・普及等のためのマニュアル等の作成）」の一環で作成しました。

デフスポーツにおける手話言語通訳者の育成等に係る検討委員会・専門部会 委員名簿

国立大学法人筑波技術大学 教授 … 大杉 豊
一般社団法人日本手話通訳士協会広報委員 … 立石 聡子
一般社団法人日本ろう者テニス協会 … 梶野 耕佑
一般社団法人日本ろう者テニス協会 … 伊久美 礼子
全日本ろうあ連盟スポーツ委員会委員 … 稲葉 智子
全日本ろうあ連盟スポーツ委員会委員 … 森田 英昭
編集担当 … 高野 大輝